

# 一般質問

# ずばり、町政

## 質問

平和と核兵器廃絶、非核三原則の遵守を求める宣言



進藤 議員

**A** 北海道立総合研究機構でエゾシカの生態調査を実施しており、来年度はアライグマの生態調査を行う予定とのことから、町としても生態を把握して有効な捕獲に努めたい。

**Q** 野生鳥獣の生態を分析し更なる鳥獣被害の防止計画を立ててはどうか。

**A** 現状の取組みをしっかりと行いながら、限界を超える部分は国の支援を要請していく。

## 町長

町では、エゾシカ等の捕獲に多額の費用をかけ取り組んでいるが、単独の町での対策には限界があるため、空知管内の連携や北海道の取組みについて継続して要請をしていく。

## 町長

担い手対策の充実、スマート農業の推進など安心して農業を継続できるよ

## 質問

平成30年度の本町農業施策をいかに進めていくのか。



白石 議員

**A** 様々な動きの中で国家間での動きが始めているところから、現段階で町の宣言は行わない。

**Q** 現在注目されている非核都市宣言、各自治体が声を上げることが大切ではないか。

## 町長

核兵器廃絶を目的とする平和首長会議に昨年加盟。自治体として非核都市を宣言するより、国家レベルでの対応が重要であると考え、本町独自で非核都市宣言をする考えはない。

言を行うことに対する考えは。

## 質問

小学生英語教育の環境づくり(人材確保、英語表記、英語でのあいさつ)の見解は。

## 町長

空知管内では2市が誘致期成会を立上げている。本町としては、誘致活動を進めている芦別市を応援すべきと考え、本町が誘致に手を上げることはない。

## 質問

北海道林業大学の誘致に名乗りあげるべきでは。



青田 議員

**Q** 農業経営の先が見える取組みを実施すべきと考えるがいかがか。

**A** 本町では主食用米を中心に稲作農業の推進を今後も力を入れ進めていく。

う農業関係機関と連携し農業の振興発展に力を注いでいく。

## 教育長

小学校に英語免許所有教諭はいないが、英検取得教諭は7名在籍。現在勤務する教員のスキルを一層高め、強化していくことが重要と考える。小学校内の英語表記については、今後検討し英語に親しみやすい環境について工夫をしていく。毎週月曜日の午後と火曜日に中学校のALT(外国語指導助手)が小学校を訪問している。ALTは簡単な英会話で児童と接するように努めている。提案された事項を参考に新学習指導要領の実施に向けて取組んでいきたい。

**Q** 親にも英語教育に力を入れていけると分かるような取組みをすべきでは。

**A** 社会教育においても英語教室を実施し、前年度より子供受講者が増えている。今後に向け、英語に親しみやすい環境づくりに向け、学校と協議し取組んでいきたい。